

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 長野県小諸市
本事業の担当部局名 総務部企画課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1.2.3 地域の結婚支援ボランティア・事業者等を活用した伴走型結婚支援の充実					
個別事業名		官民連携伴走型結婚支援事業				新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	新規
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和8年度
総事業費(A)(円)		730,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円) 0		差引額(A-B)(円) 730,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		730,000					
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	730,000	0	0	0		730,000
	対象経費支出予定額	730,000	0	0	0		730,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 小諸市の人口は平成17年の45,499人をピークに、人口減少が続いている。過去10年の出生率の推移を見ると平成25年に380人となり、その後は減少傾向が続き、令和4年では268人となっている。人口移動の要因については、15～19歳から20歳～24歳になるときの進学や就業による転出があり、その後30代が転入超過に転じているが、若年層の流出した人口を取り戻すまでには至っていない。今後は、関係機関等と連携を図りながら、社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図り、官民協働による取り組みを推進していく。 <本個別事業の位置付け> 本事業は、結婚を成功に導くためのセミナーと地域の魅力を活かした出会いの場を創出し、官民連携型婚活イベントを開催するものである。また婚活イベント前・後のスキルアップセミナーやフォローアップを行うことで、マッチング率の向上やカップル成立後も結婚に前向きな機運を醸成する。				

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	婚活イベント	結婚の希望を叶えられるよう、出会いの場を提供するため委託により、婚活スキルアップセミナーと婚活イベントを開催する。また婚活イベント後のフォローアップや希望者には結婚に対する向き合い方や将来像を描くなどのコミュニティカフェを開催するほか社会福祉協議会による個別相談(マッチングアプリへの登録)の機会を設ける。婚活イベント前のスキルアップセミナー→婚活イベント→婚活イベント後のフォローアップ(マッチングしたカップルには将来像を描くためのコミュニティカフェと今後対象となるカップルには結婚新生活支援事業の案内、マッチングしなかったカップルには社会福祉協議会(結婚相談)の案内と今後の婚活イベントの案内、県が導入しているマッチングアプリの紹介も行う。)婚活イベントでマッチングすることをゴールとするのではなく、マッチングした後も結婚を後押しできるフォローを行う。マッチングしなかった人にも今後の出会いの機会を提供するための案内を行う。 ○ボルケーノラブ イベント・セミナー費用 参加予定者数(定員)40人(男女各20人×2回) 内容:登山婚活イベント、会話術スキルアップオンラインセミナー 対象:おおむね27歳～45歳 男性8800円×20名 女性5800円×20名 ○大人のボルケーノラブ・イベント・セミナー費用 参加予定者数(定員)40人(男女各20人×2回) 対象:おおむね37歳～55歳 男性8800円×20名 女性5800円×20名 内容:登山婚活イベント、会話術スキルアップオンラインセミナー ○市民・婚活イベント参加者向け婚活力向上セミナー 参加予定者数(定員)50人 ○婚活イベント運用費用 参加予定者数(定員)40人(男女各20人×1回) 内容:動物園婚活イベント 対象:おおむね27歳～45歳 男性8800円×20名 女性5800円×20名 ○動物園婚活イベント後フォローアップセミナー 運営費105000円 ○周知・広報について ・市の広報やHP・SNS(インスタグラム、LINE、Xなど) ○その他 婚活イベントでマッチしなかった方:希望者にはながの婚活マッチングシステム(NAGANOaiMATCH)の紹介と次の婚活イベントの案内
	2		
	3		
	＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞		